

令和6年度「活動内容のまとめ」（器楽・管弦楽専門部）

（1）専門部演奏会（県大会）

第39回専門部演奏会を7月31日（水）に東海市芸術劇場（大ホール）で開催した。管弦楽・弦楽合奏・ジャズアンサンブル・バンド演奏・リコーダーアンサンブル等、様々なジャンル・編成の団体が演奏を披露した。参加は22団体、生徒535名が出演した。今年度より桜花学園ハンドベル部を新しい仲間として迎え、専門部演奏会初出演となった。当日の来場者は保護者・家族が中心で約400名でした。次年度の第40回専門部演奏会も同会場で開催を予定している。

（2）講習会

例年、外部の専門家を講師として招き、初心者を対象にパート別の講習会を年2回行っている。しかし、講師と会場の確保ができなかった為、中止とした。

（3）役員会・総会

総会を5月1日（水）に名古屋市音楽プラザで行った。令和5年度の事業報告・会計報告を行い、令和6年度の事業計画・予算などについて審議を行った。

役員会を11月26日（火）に名古屋市音楽プラザで開催し、次年度の全国高等学校総合文化祭香川大会に向けての話し合いを行い、愛知県合同管弦楽団・合同ジャズアンサンブルの演奏曲やオーディションについて決定した。

（4）アートフェスタ（合同管弦楽団）

令和6年度アートフェスタが、愛知県芸術劇場で開催された。

合同管弦楽団は8月25日（日）にコンサートホールでR.ワーグナー作曲 歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲を演奏した。また、GReeeeNの「愛唄」を演奏して実行委員企画のフィナーレに彩りを添えた。

（5）全国高等学校総合文化祭：ぎふ総文（合同管弦楽団・合同ジャズアンサンブル）

平成12年度より県内加盟校の管弦楽部・弦楽部などから参加者を募集し、「愛知県合同管弦楽団（以下オケと記載）」を編成している。また、平成21年度から「愛知県合同ジャズアンサンブル（以下ジャズと記載）」を編成している。両団体とも1月から2月にオーディションを行ってメンバーを選出している。オケは10校から138名が参加し80名を選出した。ジャズは5校から55名が参加し20名を選出した。合同練習は日程の調整が難しく、本番まで5～6回の練習で臨むこととなった。そのような中でも、生徒はよく頑張り、また参加各校の顧問の尽力もあって8月5日長良川国際会議場ホールで行われたぎふ総文祭では愛知県の代表としてオケ・ジャズともに堂々と演奏を披露することができた。

（6）研究集録

特に作成していない